



林業専用道技術者研修②
研修初日(H24.7.11)

①
間もなく今年度2回目の研修がスタートしようとしています。

今回の研修生は総勢23名。研修が終わるまでの間、よろしくお願いします。



②
今回は川野康朗森林整備部長の開講挨拶で幕が開きました。

挨拶では、森林・林業再生プランを具体化するための基礎となる林業専用道を骨格とする路網整備の重要性と路網整備に必要な技術者の養成にける思いなど、研修生へ熱いメッセージを伝えました。



③
挨拶の後は、オリエンテーションです。今回は山本道裕企画官がファシリテーターとなります。

講義に入る前に研修の目的や内容、施設の説明等研修に当たって必要となる事項を説明します。一通り説明が終わった後は、班内で簡単な自己紹介を行い緊張を和らげます。

この研修ですが、グループ(班)に分かれて演習することが多いので机は最初から班単位に固まって配置しています。



④
さあ、講義の開始です。最初は澤井孝仁講師による「新たな路網の整備について」と題しての講義です。

講義の後はグループ演習となります。初めて体験する方も多いので、丁寧に説明します。



⑤
班(グループ)内で共通の資料(平面図、縦・横断面図など)に基づき検討を進めます。



⑥
班ではほぼ全員が初対面です。経験や知識もバラバラです。

一人一人が意見を出すことで、多様な考え方に気づかされるとともに各人の疑問点や悩みを班全体で共有します。



研修2日目(H24.7.12)

①
今日は現地です。午前と午後
に2箇所を踏査します。

天気は生憎の雨(梅雨真っ直中
なので仕方ないですね)。

現地はいずれも昨日のグルー
プ演習で図面を見ながら検討を
行った道です。



②
現地も班に分かれて行動しま
す。
昨日机上で検討した箇所を確
認して回ります。

スタート時点で降っていた雨も
時間が経つとともに小雨にな
り、終点に到着した時には上
がっていました。
皆さん日頃の行いが良い方ば
かりですね！



③
帰路は全員まとまって行動しま
す。

予定していた検討ポイントに立
ち止まっては、意見交換を行いま
す。



④
研修生からは様々な意見が出
てきます。
色々な考え方があることを実感
します。

講師のアドバイスも交え、貴重
な意見交換となりました。



⑤
夕方、研修室に戻ってから明日
の発表に備え考え方をまとめま
す。



⑥
現地を思い出し、修正箇所等
について意見を出し合います。



研修3日目(H24.7.13)

①
あっという間に研修も最終日です。

しかしながら、ゆっくりとした朝を過ごせるわけではありません。これから始まる発表に備え打合せを入念に行います。



②
よいよ発表のスタート。順番に前に出て発表します。

そうそう、発表の際は班員全員が前に出ます。

発表は班の代表者が努めた班もあれば、班員が交代しながら説明を行った班もあります。



③
発表の後は質疑応答です。どのような内容の質問が来るのかドキドキです。

緊張しつつも聞き手の研修生から厳しい質問にも誠意をもって答えます。



④
全ての班の発表が終わった後で澤井孝仁、中島龍児、奥谷由行の全て講師から講評を行います。

発表時に使用した図面を並べて張り出すことで、他の班との違い等を確認することができます。

また、講評の最後にお手本となるルートについても説明をします。



⑤
発表後は研修最後の講義となります。設計のポイントについて、奥谷由行講師から説明があります。

また、講義の後は研修全体を通じた質疑応答をし、研修は終了となります。



⑥
3日間と短い期間でしたが、お疲れ様でした。

研修後も連絡を取り合う等親交を深めてもらえればと思います。